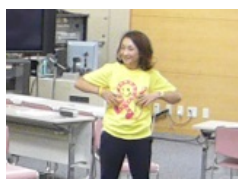


開催報告

がん患者サロン学習会

6月4日(土)
第18回



一般社団法人キャンサーフィットネス代表理事の広瀬真奈美先生をお迎えし、運動を上手に生活に取り入れるコツと、簡単・安全にできるフィットネスを実践を交えて教えていただきました。

参加者からは、「楽しくできた。」「前向きになれる。」等の感想をいただき好評の会として終えることができました。

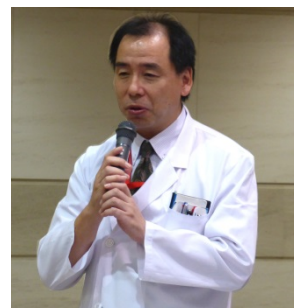
がんセンター公開講座

7月13日(水) 第5回



がん専門看護師の苅谷三月看護師長、吉見千明薬剤師の2人が「患者と家族のコミュニケーションの取り方」をテーマに講演いたしました。参加者からは、「気持ち楽になりました。」「前向きになれる。」等の感想をいただき好評の会として終えることができました。

9月20日(火) 第6回



呼吸器内科 臨床准教授 大野 康先生が、「病気と一緒に楽しく生きよう～肺がんのお話～」をテーマに講演いたしました。参加者からは、「基本的なことが理解できました。」「生活面での注意事項もよくわかりました。」等の感想をいただき好評の会として終えることができました。

今後の予定

- 平成28年11月26日(土) がんと共に生きていこう パート4
- 平成29年1月25日(水) 医療者との上手な付き合い方、セカンドオピニオンについて
- 平成29年3月 生活の工夫・在宅療養の方法

CONTENTS

- ・がん患者サロン学習会・がんセンター公開講座の開催報告
- ・臨床試験と治験に関するご案内
- ・教育研修部門の紹介
- ・がん相談支援センターからのお知らせ

部 門 紹 介



教育研修部門

部門長
岩田 尚

当院では、がん医療に携わる医療従事者を対象に、さまざまな教育研修活動を企画しています。高度のがん医療に関する研修会や地域がん診療連携拠点病院で専門的ながん医療を行う医師、薬剤師、看護師等を対象とした研修会を実施しております。

また、各種製薬会社が主催するがんの講演会などにも後援として携わっております。これまで、がん医療総論から各種がんの各論まで幅広く企画してまいりましたが、今後は、より実践的な内容を取り込んだ企画も検討しています。なお、がん専門医を目指す方々や大学院生の方は、がんプロフェッショナル養成講座企画の研修会も利用して頂けます。



多地点合同テレビカンファレンス

がん診療施設情報ネットワークの多地点テレビ会議システムを使用して、国立がん研究センター主催の全国のがん診療連携拠点病院とがん治療に関するカンファレンスに参加しています。岐阜県では、当院のみシステムが導入されており、当院発信、あるいは、多施設発信の演者として発表も行っています。院外の方も参加可能です。



がんプロフェッショナル 養成基盤推進プラン

岐阜大学大学院医学系研究科は、「東海がんプロフェッショナル養成プラン」に参画しています。がんプロフェッショナル養成基盤推進プランのご案内は、岐阜大学大学院医学系研究科ホームページの、次のURLに掲載されています。

<http://www.med.gifu-u.ac.jp/grad/ganpro.html>



臨床試験に関するご案内



本院では、より多くの患者さんが最先端の治療を受けられるよう治療の標準化を目指して、積極的に臨床試験に参加しています。シリーズ第6回目は整形外科の進行中臨床試験をご紹介します。

第6回 整形外科

平成28年1月現在

- 骨肉腫術後補助化学療法におけるイホマイド (Ifosfamide) 併用の効果に関するランダム化比較第III相臨床試験
- 骨腫瘍に対するラジオ波焼灼術を用いた最小侵襲治療
- 術前化学療法を施行した高悪性度非円形細胞軟部肉腫における組織学的効果判定に関する研究
- 化学療法を施行した骨肉腫例における効果予測因子および予後因子に関する探索的研究
- 多施設共同研究による、日本人における悪性軟部腫瘍に対するパゾパニブの治療効果の検討
- 骨軟部悪性腫瘍細胞の樹立と癌関連遺伝子の解析
- 骨軟部腫瘍術後成績の調査および検証
- 非円形細胞肉腫を対象としたsecond lineとしてのgemcitabine, docetaxelによる併用化学療法の有効性と安全性の評価に関する検討
- 骨外性骨肉腫の治療成績に関する国際共同研究
- Ewing肉腫を除く41歳以上の中・高悪性原発性骨腫瘍に対するADR+IF0を用いた術前術後化学療法の第II相臨床試験
- 高悪性非円形細胞肉腫に対するadriamycin, ifosfamideによる補助化学療法とgemcitabine, docetaxelによる補助化学療法とのランダム化第II/III相試験(JC061306)
- 遺伝性多発性外骨腫の実態把握と遺伝子多型に関する基盤研究
- Kyocera Modular Limb Salvage system (KMLS)新セメントレスシステムの短期成績調査 骨軟部肉腫治療研究会多施設共同研究

治験患者さん募集

食道癌	2件	T細胞性リンパ腫	1件
胃癌	3件	大腸癌	1件
子宮頸癌	1件		

2016年9月現在

新しい「くすり」を創るためには、「治験」を行う必要があります。治験は、患者さんの協力なくしては行うことができません。当院で実施中の治験をご紹介します。

お気軽に
先端医療・推進センター
までご相談ください。

日本医師会治験促進センター キャラクター
ちけん君

お問い合わせ
先端医療・臨床研究推進センター

電話：058-230-7038 電子メール：chikenj@giiifu-u.ac.jp
URL：http://hosp.gifu-u.ac.jp/icc/

がん相談支援センターからのお知らせ

ハローワーク岐阜による「長期療養者就職支援事業」が始まります

近年、医療技術の進歩や医療提供体制の整備等により、がん患者の5年後の生存率がおよそ60%までに向上している状況などの中、がん、肝炎、糖尿病等の疾病により、長期にわたる治療を受けながら、生きがいや生活の安定のために就職を希望される方に対する就職支援を推進することが社会的課題となってきました。

岐阜大学病院では、新たにハローワーク岐阜の就職支援担当者が出張し、長期療養者の就労支援を行います。

ハローワーク岐阜の就職支援担当者「就職支援ナビゲーター」と岐阜大学病院の「ソーシャルワーカー」がお話をお伺いします。ぜひご利用ください。

対象：長期療養者（がん、肝炎、糖尿病等の身体的疾病により、長期にわたる治療等を続ける必要がある方）とその家族

場所：岐阜大学医学部附属病院がん相談支援センター

お問い合わせ：058-230-7049

受付時間：月～金曜日（祝日を除く） 8:30～17:00

相談日 予約制

相談日は、受付時間内に来訪またはお電話にて予約することができます

「がん患者サロン和み」

がん患者さんやご家族同士で、不安な気持ちを分かち合う「がん患者サロン(和み)」 がん患者体験者でもある相談員が、同じ立場でお話を伺います。



北診療棟2階
化学療法室近く
「がん患者サロン」
にて開催しています



相談員がお待ちしています



がんに関する冊子や書籍があります



ソーシャルワーカーからの一言アドバイス 医療費制度をご存じですか？

今後、紅葉も始まり、秋の行楽シーズンになっていきますね。早い方は年末をどう過ごすかと考え始めている方もみえると思います。そんな中、「今年は医療費をどのくらい払っただろうか？」と整理されてみてはいかがでしょうか？もしかしたら、戻ってくる医療費があるかもしれません。気になる方は、是非、加入されている保険者（例えば、国保であれば市町村）へご確認ください。また、「医療費制度の仕組み自体が知りたい」等、治療を受けられる中で疑問や不安がある場合は、私たちソーシャルワーカーにお気軽にご相談ください。

相談のご依頼・ご質問はこちらまで
がん相談支援センター
TEL 058-230-7049

「がん患者サロン 和み」 ●開催 月・水・金（年末年始、祝祭日休み）
●時間 9:30～12:00 13:00～15:00

お問い合わせ

岐阜大学医学部附属病院 医療支援課（がんセンター事務）
TEL 058-230-7341 FAX 058-230-7037

URL <https://hosp.gifu-u.ac.jp/center/gan/index.html>
岐阜大学医学部附属病院は都道府県がん診療連携拠点病院です